



第7回常任理事会

日時 平成20年7月8日（火）18：02～19：21
場所 北海道医師会館9階・理事会室
出席者 長瀬会長、三宅・宮本・畑各副会長、柳山・山本・北野・渡辺・三戸・小山・目黒・藤井・藤原・深澤・西里・直江・橋本各常任理事、高木・水元・中村各監事（事務局：島影事務局長ほか11名）

協議事項

第1号 日本医師会医療政策会議委員の委嘱に関する件（深澤常任理事）

〈決定〉

長瀬会長に対する委嘱依頼を承認。

第2号 子どもの健康を守る地域専門家総合連携事業連絡協議会委員の推薦に関する件（深澤常任理事）

〈決定〉

直江常任理事を推薦。

第3号 日本医師会生涯教育講座等の認定に関する件（渡辺常任理事）

〈決定〉

申請のあった日医生涯教育講座24件、道医認定生涯教育講座26件、合計50件を承認。

報告事項

1. 第10回日本医療マネジメント学会学術総会[6月20日(金)・名古屋市]について(橋本常任理事)

トヨタ記念病院・稲垣春夫院長が会長となり、第10回学術総会が開催された。宮崎久義（国立病院機構熊本医療センター名誉院長）の基調講演では、クリティカルパス導入の現状と医療の質向上について説明され、医療情報システム開発センターでのアクセス件数の25%が一般市民であり、患者の関心の高さを示しているとのことであった。また、日医の今村聡常任理事からは、日医の考える地域医療連携について、医師会の果たす役割が大きいことが述べられた。来年は長崎で開催される。

2. 高等学校進路指導担当教員等説明会[6月26日(木)・名寄市]について（北野常任理事）

上川北部地区の高等学校より7名が出席。北海道看護協会・若山会長、上川北部医師会・坂田副会長よりそれぞれ挨拶の後、小職から「北海道における保健医療福祉の現状」、看護協会の高橋常任理事からは「看護職の需給見通しと就業状況」、上川北部医師会准看護学院の宮方教務主任からは「同校の入学学生・卒業生の状況」等について説明を行い、准看護等養成施設への入学を勧奨した。

3. 北海道医師会・北海道看護協会懇談会[7月2日(水)]について（北野常任理事）

本年度は北海道看護協会が当番となり開催した。当会より「後期高齢者医療制度」について、看護協会からは「平成20年度事業計画」についてそれぞれ話題提供し懇談を行った。

4. 都道府県医師会社会保険担当理事連絡協議会[7月2日(水)]について（西里常任理事）

「地方社会保険医療協議会委員の選出について」を議題に協議会が開催された。社会保険事務局の機構改革に伴い、地方社会保険医療協議会が地方厚生局に移設され、従来都道府県毎に選出していた協議会委員は、全国8ブロック毎に選出することとなる。各医師会より「委員選出方法決定プロセスに対する日医の関与」「ブロック内における選出委員調整の難しさ」「集团的個別指導のあり方」等について質問・要望が出された。

5. 第1回学校保健推進委員会[7月5日(土)]について（三戸常任理事）

新委員紹介の後、最近の学校保健をめぐる動向として、学校健診のあり方ならびに眼科・耳鼻咽喉科の巡回健診について意見交換を行った。また来る10月19日（日）岩見沢市で開催される第57回北海道学校保健研究大会の概要と、日本学校保健会発行の「学校のアレルギー疾患に対する取り組みガイドライン」について説明した。

6. 第1回母子保健対策推進委員会[7月5日(土)]について（三戸常任理事）

最近の母子保健をめぐる動向について、日医母子保健検討委員会の城委員より委員会答申に関し詳細な現状報告の後、意見交換を行った。なお、委員から三種混合ワクチンの接種対策等について意見が出された。

7. 外部各委員会報告

(1) 第1回北海道後期高齢者医療広域連合運営協議会[6月25日(水)]について(西里常任理事)

会長に学識経験者・松村操氏、副会長に北海道老人クラブ連合会・藤林功氏を選出。「新制度の運営状況」「20年度広報事業計画」「20年度後期高齢者医療会計予算」について説明があり、被保険者証の交付、制度の周知、保険料等について質疑応答がなされた。また「一連の制度見直しへの対応」について、保険料の徴収方法、システムの見直しについて、十分な対応をするよ

う委員から要望が出された。

(2) 北海道医療審議会第1回医療法人部会
[6月26日(木)]について(畑副会長)

設立認可申請は、社会医療法人1件、医科診療所8件、病院の合併1件。解散認可申請は、医科診療所8件全て『可』とされた。

(3) 北海道心臓協会理事会[6月27日(金)]について(宮本副会長)

平成19年度事業報告・収支決算報告の後、新公益財団法人への移行について協議があった。

8. 各部報告

(1) 第2回医療関連事業部担当理事会[6月24日(火)]について(北野常任理事)

勤務医懇談会、勤務医座談会ならびに病院管理研修会等の開催内容について検討を行った。また当会勤務医部会員に対し、勤務環境にかかわる問題点等についてブロックごとに具体的なテーマを割り当て、医報掲載原稿を依頼することとした。

(2) 第2回地域保健部担当理事会[7月5日(土)]について(三戸常任理事)

全道規模のメンタルヘルスセミナー事業の取り扱いと、日医からの平成20年度特定健診・特定保健指導の契約状況等の調査について協議した。

9. その他

(1) 高橋はるみ北海道知事の来訪[7月3日(木)]について(長瀬会長)

高橋はるみ知事と高橋保健福祉部長が北海道医師会館を訪れ、長瀬会長、三宅・宮本・畑副会長と面談、知事から、緊急臨時的医師派遣体制整備事業ならびに洞爺湖サミット開催に関わる協力に対し謝辞が述べられた。

(2) 「地域医療崩壊阻止のための国民運動」の展開について(直江常任理事)

日本医師会長から要請のあった表題について検討し、7月24日(木)に東京で開催される国民医療推進協議会主催「地域医療崩壊阻止のための総決起大会」への出席と、日本の医療を守る道民協議会第7回総会を、7月26日(土)午後2時からウェルシティ札幌(北海道厚生年金会館)で開催することを決定した。

(3) 第42回北海道ドクターズゴルフ協議会役員会[6月29日(日)]について(橋本常任理事)

役員の一部改選、前年度大会の決算報告および監査報告、次年度・次々年度の開催地について協議を行った。次年度(第43回)大会は室蘭市医師会、次々年度(第44回)大会は小樽市医師会が担当することになった。今年度の大会は、旭川市医師会・増田会長はじめ役職員の方々のご協力により、約150名の参加者のもと、天候にも恵まれ盛会裏に終了した。

(4) 会員数について(深澤常任理事)

平成20年6月30日現在の会員数は8,429名で、内訳はA会員2,604名、B1会員545名、B2会員4,504名、C1会員102名、C2会員183名、C3会員491名となっている。日医会員は、6,203名である。

第8回常任理事会

日時 平成20年7月22日(火) 18:31~20:35
場所 北海道医師会館9階・理事会室
出席者 長瀬会長、三宅・宮本・畑各副会長、榊山・山本・北野・渡辺・三戸・目黒・藤井・藤原・深澤・西里・直江・橋本各常任理事、水元・中村各監事
(事務局：島影事務局長ほか12名)

協議事項

第1号 母体保護法指定医師の指定に関する件

(深澤常任理事)

〈決定〉

7月16日の審査委員会で指定「可」とされた再審2名の申請者を指定医師とすることと決定。

第2号 日本医師会生涯教育講座等の認定に関する件(渡辺常任理事)

〈決定〉

申請のあった日医生涯教育講座41件、道医認定生涯教育講座35件、合計76件を承認した。

第3号 その他

(1) 8月行事予定に関する件(事務局)

〈決定〉

提案どおり承認決定。

報告事項

1. 2008北海道洞爺湖サミット[7月7日(月)~9日(水)]について(目黒常任理事・長瀬会長)

目黒常任理事から、サミット期間中の救急患者の受入状況について報告があった。その後、長瀬会長から、サミット終了に伴い北海道保健福祉部の高橋部長が来所し、期間中の救急医療体制確保の協力に対するお礼の挨拶と知事の礼状を持参した旨報告があった。

2. 医師会立准看護学校連絡協議会・看護対策委員会合同会議[7月13日(日)]について(北野常任理事)

「日本医師会医療関係者対策委員会報告書」「医師及び医療関係職と事務職員等との間での役割分担の推進」等について概要を説明し、その後、看護学校の運営ならびに定員枠等の諸問題に関する意見交換を行った。

3. 緊急臨時的医師派遣事業第3回運営委員会[7月14日(月)]について(宮本副会長)

派遣依頼のあった5医療機関の状況および派遣元医療機関10病院の状況を精査し、一部の継続調整を

除きそれぞれの派遣を決定した。

4. 第1回北海道糖尿病対策推進会議[7月14日(月)]
について(長瀬会長)

各団体から、平成19年度(20年1月~3月分)ならびに20年度事業の実施報告を受けた。また、本年度、北海道糖尿病対策推進会議の事業として、市民対象のセミナー等のほか、11月14日の「世界糖尿病デー」に合わせ「札幌時計台ブルーライトアップ」を行う予定。

5. 都道府県医師会長協議会[7月15日(火)]について
(三宅副会長)

都道府県医師会ならびに日医から提出のあった協議事項18題について、日医から回答する形で協議が行われた。当会からは集団的個別指導についての議題を提出した。

6. 日医理事会報告(長瀬会長)

出張報告5件、報告事項7件の報告を受けたのち、協議事項では平成19年度日本医師会決算の件、旅費規程の見直しの件など6件について協議した。

7. 日医各委員会報告

(1) 男女共同参画委員会[7月9日(水)]について

(藤井常任理事)

第4回男女共同参画フォーラム(7/19・福岡市)について、最終確認を行った。なお、今後は来年7月に札幌市で開催する本フォーラムの概要を協議していくこととなる。

(2) 勤務医委員会[7月16日(水)]について

(三宅副会長)

委員長に池田俊彦氏(福岡県国民健康保険審査委員会会長)が指名され、その後、会長諮問の「医師の不足、偏在の是正を図るための方策-勤務医の労働環境(過重労働)を改善するため」についてフリートーキングが行われた。

(3) 労災・自賠責委員会[7月16日(水)]について

(目黒常任理事)

委員長に佐賀県医師会・藤川謙二常任理事、副委員長に小職が指名された。その後、日医石井常任理事より中央情勢報告および労災・自賠責保険関係の動向について解説・説明がなされた。また、会長諮問「労災保険、自賠責保険をめぐる今日のあり方」に対する協議の進め方についてフリートーキングが行われた。

についてフリートーキングが行われた。

(4) 介護保険委員会[7月17日(木)]について

(三宅副会長)

唐澤会長より「地域完結型の医療・ケア体制をめざして」との諮問があった。委員長、副委員長の指名、続いて各委員の自己紹介後議事に入り、諮問に関しフリーディスカッションを行った。

(5) 広報委員会[7月17日(木)]について

(藤原常任理事)

委員長に野津原崇東京都医師会理事、副委員長に堤康博福岡県医師会理事が指名された。

協議では、「編集小委員会の設置」「『心に残る医療-体験記コンクール』第二次審査」「日医ニュース・プリズム欄の執筆」「日医ホームページ」等と今後の委員会の進め方についてディスカッションを行った。

(6) 母体保護法等に関する検討委員会[7月17日(木)]について(深澤常任理事)

委員長に新潟県医師会長の佐々木 繁委員、副委員長に日本産婦人科医会の白須和裕委員を選出した。会長諮問「適正な産科診療(妊婦健診、分娩等)のあり方」について今後検討して行くこととなる。

8. 各部報告

(1) 第3回医療政策部・第2回総務部合同担当理事
会[7月8日(火)]について(直江常任理事)

日本医師会長から要請のあった「地域医療崩壊阻止のための国民運動」の展開について、7月24日(木)に東京で開催される「地域医療崩壊阻止のための総決起大会」へ長瀬会長ほか6名出席、および7月26日(土)午後2時からウェルシティ札幌(北海道厚生年金会館)において開催される「日本の医療を守る道民協議会第7回総会」の内容について検討した。

道総医協関連事項(三宅副会長)

1. 第2回地域保健専門委員会[7月15日(火)]について(畑副会長)

地域保健専門委員会に設置する「循環器疾患対策小委員会」の委員を決めた後、がん診療連携拠点病院の整備方針等について協議した。

日医認定健康スポーツ医制度再研修会開催一覧 (道内開催分のみ)

◇産業保健部◇

主催者名	開催日時	開催場所	主な演題および講師	単位数	連絡先	備考
札幌市健康スポーツ医協議会	平成20年10月2日(木) 18:30~20:00	札幌市医師会館 札幌市中央区 大通西19丁目	・健康運動を阻む身体コンディション 札幌医科大学保健医療学部臨床 理学療法学教授 片寄 正樹	1	札幌市健康スポーツ 医協議会 011-611-4181	